

～アメリカで学んだこと～

七飯高校2年 田村 紗英

私がアメリカで過ごした10日間はこの先、一生忘れることのできない宝物になりました。今回、海外研修生に選ばれて嬉しかった反面、言葉は通じるか、食事は困らないか・・・などたくさんの不安もありました。

アメリカに到着してからスクールバスで学校に向かいました。学校に着き初めてホストファミリーと対面しました。あいさつをした後お母さんに「よく来てれたね。私たちみんなあなたが来るの楽しみに待ってたのよ」と言われて本当に嬉しかったです。この日はお姉さんのビクトリアも私のためにわざわざ家に帰ってきてくれたりと本当に嬉しかったです。2日目からはエリザベスと一緒に学校に通いました。私は一緒に授業を受けてびっくりしたことがあります。それはプリントをやりながらお菓子を食べたり勝手にトイレに行ったりと、とても自由だったところです。

日本人は初めて会う人（特に外国人）には自分達からあまり話しかけません、向こうの生徒達は会ったその時から「名前は？どのくらいコンコードにいるの？日本語教えて！」と積極的に話しかけてくれました。この日はたくさんの人に話しかけられて少し疲れしました。2日目からはホストファミリーと一緒に行動せず別々でした。この日から、研修生とベンでDVDを作りました。2つのチームに別れて校内の様子をビデオに撮り、パソコンで編集して作っていきました。ベンと一空が中心になって進めてくれて助かりました。DVDを作る他にも、ラジオステーションでラジオを流したり CCTV で Second Language の生徒と交流したり、

「メイ」という女の子のお母さんとベンと買い物に行ったりしました。CCTV は授業と授業の間にやっているそうです。本当のテレビ局みたいですごく緊張しましたが、楽しく交流することができました。

放課後は、日和子とホストファミリーのジェシカとエリザベスの友達の家と一緒にクッキーを作りました。夜ご飯もみんなで食べました。すごく嬉しかったです。でも一番思い出に残っているのが、ホームステイ最終日です。私と日和子、一空、七奈のホストファミリー4家族でボストンにある水族館に行きました。



日本の水族館とは全然違いました。水族館の後は、一空のホストファミリーの家でみんなでご飯を食べました。私達は日本から持って行ったもので、おにぎり・みそ汁・おなか・カップ麺を作ってあげました。お母さんやお父さん方はすごく喜んでくれましたが、ホストシスター達はあまり口に合わなかったみたいです。でもハイチューやコアラのマーチはとても喜んでくれました。ご飯の時はメイも来てくれて本当に楽しい1日でした。家に帰るとお母さんがハロウィンのプレゼントをくれました。ビクトリア、エリザベス、私の3人でおそろいの飾り物でした。本当に嬉しかったです。お別れの日、お母さんに「またおいで、待ってるから」と言われて涙が止まりませんでした。今回、私がお世話になったリアウィルソン家はとても優しくて明るく温かい家族でした。



コンコードでのホームステイのあとはボストンとニューヨークに移動しました。

ボストンではハーバード大学やボストン美術館、MITなどに行きました。ハーバード大学では、つま先にさわると頭の良くなるという銅像があり、もちろんみんなでいっぱいさわってきました。ボストンは一日だけの滞在だったけど楽しかったです。

次の日からニューヨークを観光しました。ボストンからニューヨークまでは鉄道で移動しました。みんなほとんど寝ていました。ニューヨークでは、自由の女神やエンパイアーステイトビル、ナイキタウンや五番街など、いつもはテレビでしか見たことのなかった有名な建物を実際に見ることができて感動しました。特に思い出に残っているのが、やっぱり自由の女神とエンパイアーステイトビルです。自由の女神はエリス島という島にあって船で島まで行きました。間近で見る自由の女神はとても迫力がありました。お土産ショップにはかわいいグッズがたくさん置いてあり、日本のお土産をたくさん買いました。エンパイアーステイトビルは、思っていたより高いビルでした。展望台からの眺めはすごくキレイでした。展望台から自由の女神がすごく小さく見えました。人がたくさんいてフェンスのギリギリまで行くのは恐かったです。

私は今回の海外研修でたくさんのことを学びました。英語を話せなくても、身振り手振りで伝えることもできます。大切なのは「伝えようとする気持ち」ということを忘れないようにしたいです。これから、もっともっと英語を頑張って、次にコンコードのみんなに会った時は英語でたくさんお話ができたらいいなと思っています。

最後に、お忙しいなか私たちのために、いろいろ準備してくださった役場の方々、私たちの願いを聞き、私たちのことを見守ってくださった大人の方々、ほぼ毎日一緒に過ごしたみんな、本当にありがとうございました。この仲間でアメリカに行けて本当に良かったと思います。